

平成25年3月8日

報道関係者 各位

国立大学法人 東京大学生産技術研究所
独立行政法人 国立国際医療研究センター

東京大学生産技術研究所と国立国際医療研究センター研究所との 連携・協力協定の締結について

平成25年3月13日、東京大学生産技術研究所（所長 中埜良昭）と国立国際医療研究センター（理事長 春日雅人）は、東京大学生産技術研究所と国立国際医療研究センター研究所との連携・協力の推進に関する協定を締結いたします。

■協定の趣旨■

東京大学生産技術研究所と国立国際医療研究センター研究所は、両機関の研究開発能力と研究資産等を活かし、医工連携による先進的な診断・治療方法の研究開発及び先進的工学手法を取り入れた臨床医学を担う次世代の人材の育成と交流に関して連携・協力することによって、我が国の学術及び医療の振興に資することを目的としています。

■協定締結に至った経緯■

東京大学生産技術研究所は、大学附置研としては国内最大であり、その研究活動域は、工学とほぼ全領域と理学の一部にわたり、所内外との融合研究が極めて盛んです。昨今ではそれぞれのディシプリンに基盤を置きながらも生体関連の研究を行っている研究室が約1/3にまで拡大しています。その中でも医療応用への展開は大きな課題の一つとして議論されてきており、化学や機械工学を基盤とした創薬・再生医療のための高分子・バイオマテリアル開発や生体組織構築、精密機械工学や電気電子工学を基盤とした微小デバイスによる診断・治療、情報工学を基礎とした生体シミュレーションによる新たな予防・診断などの研究開発が急速に活発化しています。また、マイクロナノメカトロニクス国際研究センター、革新的シミュレーション研究センター、バイオナノ融合プロセス連携研究センター、最先端数理モデル連携研究センターといった所内センター群でも、医療応用を目指した融合研究が鋭意推進されています。

国立国際医療研究センター（以下、「NCGM」）は、国際的な対応を特に必要とする感染症やその他の疾患について、総合的な診断治療を行うとともに、これらの疾患や医療分野における国際協力に関する調査研究等を総合的に行う唯一の高度専門医療センターであり、我が国の医療分野における国際貢献の拠点でもあります。また、NCGMは、研究所、センター病院等5つの部門からなります。研究所の中には我が国の肝炎対策の中心的

拠点である肝炎・免疫研究センターが、センター病院の中には我が国のエイズ診療のトップ機関であるエイズ治療・研究開発センターや新興感染症等のまん延防止のため国際疾病センター等が設けられており、高度先進医療や臨床研究に取り組んでいます。

2010年1月から、東京大学生産技術研究所と国立国際医療研究センター研究所の研究者間で特定の研究テーマについて、非公式に交流を行ってきました。その結果、感染症診断デバイスの開発、三次元生体組織工学と再生医療、循環器系の病態予測とシミュレーションなどの具体的な共同研究テーマが立ち上がりつつあります。その他にも共同研究の展開が十分に期待されるとの相互認識に至っています。

このような経緯を踏まえ、両機関の広範な研究分野における高いポテンシャルを活用し、我が国の学術及び医療の振興に資することを目的として、今回の連携・協力協定の締結に至りました。

■協定の概要■

1. 共同研究等の研究連携・協力

医工連携による先進的な診断・治療方法の研究開発。

研究施設、設備等の相互利用による資源の有効活用。

2. 人材交流・人材育成のための協力

先進的工学手法を取り入れた臨床医学を担う次世代の人材の育成と交流により、研究開発の質の向上を図る。

3. その他目的を達成するために必要な連携・協力

情報発信のため、定期的な講演会、シンポジウムの共同開催。

■協定締結式■

1. 日時：平成25年3月13日（水）14：00～14：45（受付開始：13：30）

2. 場所：東京大学生産技術研究所

総合研究実験棟 An 棟 3F 大会議室（An301、302）

〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 駒場リサーチキャンパス

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>（参照）

3. 出席者：東京大学生産技術研究所

所 長 中 埜 良 昭

副所長 光 田 好 孝

マイクロナノメカトロニクス国際研究センター長

／「工学とバイオ」研究グループ代表

藤 田 博 之

教 授 酒 井 康 行

国立国際医療研究センター

理事長／研究所長 春日 雅人

総長特任補佐 山本 健二

(研究連携担当)

4. 内容：趣旨説明、協定締結、写真撮影

■記念シンポジウム■

本連携・協力協定の下に、研究情報の交換、施設の相互利用、定期的な共同での講演会やシンポジウムを開催し、広範な分野での研究連携を推進します。

1. 日時：平成 25 年 3 月 13 日（水） 15：00～18：15（開場：14：30）

2. 場所：東京大学生産技術研究所

総合研究実験棟（An 棟） 2 階コンベンションホール

（東京都目黒区駒場 4-6-1 駒場リサーチキャンパス）

アクセス <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>

3. プログラム：

(1) 15：00～15：15 挨拶「連携に期待すること」

東京大学生産技術研究所長 中埜 良昭

(2) 15：15～15：30 挨拶「連携に期待すること」

国立国際医療研究センター理事長／研究所長 春日 雅人

(3) 15：30～16：00 講演 1 「数学の最先端医療研究への応用」

東京大学生産技術研究所

最先端数理モデル連携研究センター長・教授 合原 一幸

(4) 16：00～16：30 講演 2 「摂食刺激に対する大腸の応答と発癌への影響」

国立国際医療研究センター研究所

肝炎・免疫研究センター消化器疾患研究部長 土肥 多恵子

— 16：30～16：45 — 休 憩

(5) 16：45～17：15 講演 3 「NEMS meets Bio/molecular engineering – there are plenty of things to do in the middle」

東京大学生産技術研究所

マイクロナノメカトロニクス国際研究センター 准教授 金 範峻

(6) 17：15～17：45 講演 4 「次世代糖尿病治療としての膵島移植」

国立国際医療研究センター研究所

膵島移植プロジェクト プロジェクト長 霜田 雅之

(7)17:45~18:15 講演5「Multi-Modality とシミュレーションの融合による高度医療の開発研究」

東京大学生産技術研究所
機械・生体系部門 教授 大島 まり

■問い合わせ先■

東京大学生産技術研究所

事務部総務課 副課長 尾迫 雅英 (おせこ まさひで)

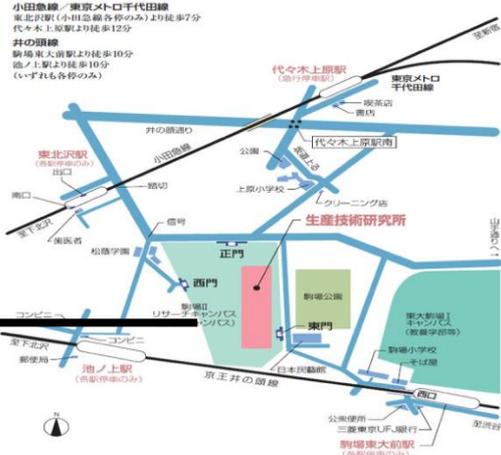
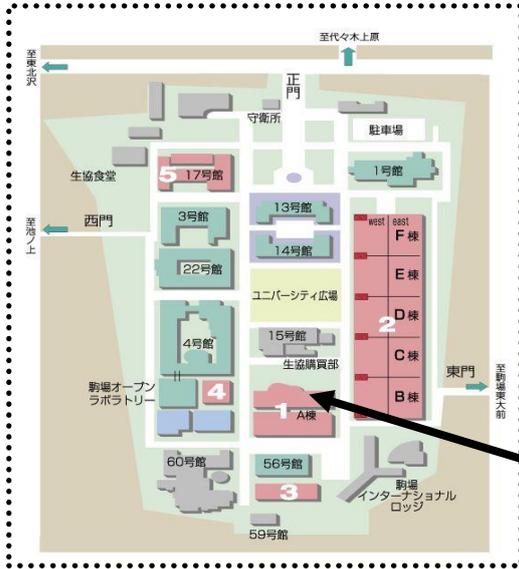
TEL : 03-5452-6023 FAX : 03-5452-6071

国立国際医療研究センター

総務部総務課 課長 佐藤 星斗 (さとう せいと)

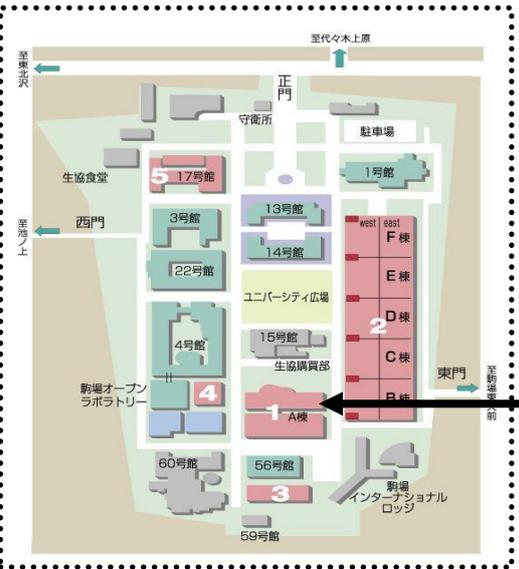
TEL : 03-3202-7181 (内 2020)、03-5273-6802 (直通) FAX : 03-3207-1038

＜協定締結式会場案内図＞



締結式会場 (14:00~14:45)
総合研究実験棟 (An棟)
3階 大会議室 (An301,302)

＜シンポジウム会場案内図＞



講演会会場 (15:00~18:15)
総合研究実験棟 (An棟)
2階 コンベンションホール